

生徒指導

「万引き」に関する統計表から

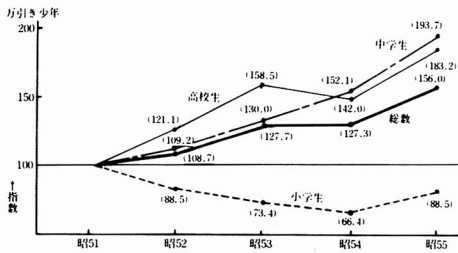
経営研究部 安藤 幸男

1. はじめに

昭和55年の少年非行(全国)は戦後第三のピークとなり、本県の統計(福島県警本部)でも同様の傾向が出ている。その中で、特に万引きの占める割合が多いので、その特徴と動機を中心にとりあげ考察してみた。

2. 少年の万引き状況とその特徴

(1) 万引き少年の推移(指数で表示)



(2) 学職別状況(万引き)

男女別	学職別	小学生	中学生	高校生	大学生	各種学生	有職	無職	計
総	数	216	587	711	6	34	67	67	1,688
	構成比	12.8	34.8	42.1	0.3	2.0	4.0	4.0	100.0
男	数	174	471	299	2	18	25	23	1,012
	構成比	17.2	46.5	29.5	0.2	1.8	2.5	2.3	100.0
女	数	42	116	412	4	16	42	44	676
	構成比	6.2	17.2	60.9	0.6	2.4	6.2	6.5	100.0

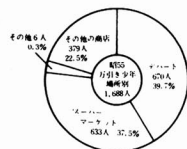
(3) 年齢別・男女別状況(万引き)

男女別	年齢別	12歳未満	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	計
総	数	167	132	226	166	295	344	245	75	38	1,688
	構成比	9.9	7.8	13.4	9.8	17.5	20.4	14.5	4.4	2.3	100.0
男	数	133	116	190	125	183	159	68	19	19	1,012
	構成比	13.1	11.5	18.8	12.3	18.1	15.7	6.7	1.9	1.9	100.0
女	数	34	16	36	41	112	185	177	56	19	676
	構成比	5.0	2.4	5.3	6.0	16.6	27.4	26.2	8.3	2.8	100.0

(4) 時間帯別・場所別状況

発生時間帯(窃盗犯) 発生場所(万引き)

16時~18時	25.7%
14時~16時	23.0%
12時~14時	11.8%
10時~12時	9.7%
その他	29.8%



(5) 月別発生状況(窃盗犯) 多い月順

犯罪少年	12月	10月	3月	5月	2月	8月	11月
14歳~20歳未満	384	319	202	202	190	178	166
触法少年	10月	12月	5月	11月	3月	6月	2月
14歳未満	151	144	104	83	76	76	75
総 数	12月	10月	5月	3月	2月	8月	11月
	528	470	306	278	265	252	249

(6) 統計表に見られる特徴

- 万引き少年の推移表から、昭和55年は中学生、高校生の順に続き、いずれも最高を示している。小学生は昭和54年まで減少し、昭和55年には再び増加を示している。
- 小・中学生は男子、高校生は女子が多い。男子は13歳~16歳までが多く64.9%、女子は15歳~17歳が全体の70.2%を占めている。
- 発生時間帯は統計資料の関係から窃盗犯について取り上げてあるが、万引きに限って見ると15時~18時に集中する。この時間帯は学校からの下校時刻と一致している。
- デパートやスーパーマーケットからの万引きが多いのは、ヤング向けの魅力的な商品が山積され、自由に商品を手にして選ぶことができ、つい欲望に負けやすいこと。また直接被害者との対人関係が生じないことから、罪悪感をあまり感じないことがあげられる。
- 月別発生状況(窃盗犯)では、2・3月が目立つ、これらの月は卒業直前で就職・進学を前にして不安感や解放感が混在する時期である。5月に多いのは、学校生活に慣れ緊張感がほぐれた時期と一致している。
- 万引きは一般的に集団非行の形態をとることが多い。この傾向は女子に目立ち、年齢が低いほどその傾向が著しい。

3. 万引きにおける動機のタイプ [註]

- (1) 欲求充足型 父放任・母厳格型の家庭
「前から欲しかった」「急にその品物が欲しくなった」……原始的な欲求の充足や満足を図るタイプ
- (2) 出し惜しみ型 父放任・母過保護型
「見つからないのなら買うより盗んだ方が得」「お金を持っていたが、その品物を買うと他の欲しいものが買えなくなる」……打算的な考えが大きな要素となっているタイプ
- (3) 体験的願望型 父・母過保護型